

令和元年度

2月16日(日)

都立小金井北高校にて4人の生徒が昇段審査に臨みました。1年生の今峰さんと牧野君は初段に、2年生の三浦君と村田さんは二段に挑戦しました。

いずれの生徒も、高校から剣道を始めた生徒です。以下の文章は2年生剣道部部長の村田さんの声です。

初段2名、二段2名の計4名が昇段審査に無事合格しました。

小川高校の剣道場が10月から1月まで改修工事で使えず、町田一中や町田高校にお世話になり稽古時間は短かったです。

だから、2月からの稽古で満足な動きが出来るかどうか、みんな不安や焦りがありました。

そんな中での昇段合格は私達にとって励みになります。

でも、ここ数ヶ月の剣道部を振り返ると反省点が多く挙げられます。

その中でも一番は、稽古の時間を無駄にってしまうなどonとoffの切り替えがまだ甘いところが私達の改善点です。

ですが、チームワークはどの学校にも負けません！先輩後輩関係なくお互いにアドバイスし合って次の試合に向けて頑張っています！！

もうすぐ新学期が始まりますが、新入生の皆さん、私達と一生懸命剣道をやりませんか。春を楽しみにしています。

2月15日(土)

綾瀬の東京武道館にて合同稽古に参加してきました。

審判講習から始まり、警視庁の方々の指導に、稽古。そして、高体連の先生方を交えて貴重な学びの場となりました。

毎年この時期に参加する稽古の1つですが、今年は5年ぶりに3年生で主将だった新井くんが警視庁と神奈川県警に合格しているので、感慨深い時間となりました。

5年前は女性の先輩が本校剣道部から合格していますが、警視庁の方々の仲間入りをする新井くんに激励と、遅しく成長出来る姿に期待を寄せて後輩達も一生懸命稽古に励んでいました。明日は1年生と2年生の4人が段審査に臨みます。

本日の経験を生かして欲しいです。



12月27日(金)

多摩工業高校にて国公立大会に参加してきました。

早朝から行われた試合は白熱し、男女共に出場した本校は学ぶべきところが多い試合となりました。

女子は、戸山、新宿、清瀬とリーグ戦を行うものの、完敗でした。

試合を重ねるごとに動きも良くなり、惜しい一本は打てるのですが、その一本が上手く決まりません！

一方で、男子は青梅総合と上野と戦ったのですが、やはり総合力で勝る彼らに歯が立ちませんでした。

先週21日(土)に行われた新人大会と合わせて、悔し涙を流して幕を閉じました。

五人制の団体戦で男子が4名で、女子は3名。数的不利な試合なのですが、自分らの非力さに涙が止まりませんでした。

素直な選手達が多いのが剣道部の良さです。

来年は基本から見直して、練習試合をしっかりと組んで、目標を1つずつクリアしていこうと決意しました。

彼らに期待します。



11月24日(日)

国士館高校にて支部大会が開かれました。

今回は、3人制の男子団体戦、個人戦に3人が出場しました。

本校は10月から武道場の補修工事が始まり、練習場所が町田第一中学校と町田高校の練習に混ぜていただいて活動してきました。

合同練習では学ぶ機会が多く充実しているものの、週の練習時間は減ってしまったので試合には不安しかありませんでした。

それでも、参加選手は自らの課題に向き合って一生懸命頑張っていました。

個人戦は、一年生で初心者の方の今峰さんと牧野くんが健闘するものの惜敗し、三段の菊地さんも面を鮮やかに決めるものの、日大三高の選手に敗れました。

今峰さんと牧野くんは先日一級審査に合格したので、勢いそのままに挑んだ試合でしたが、課題が残る試合になり大変悔しそうです。

続く、男子団体戦は、初戦で日大三高と対戦し一年生三段の齋藤くんが胴を二本決めると、続く辻くん、大将の二年生三浦くんと続いて何とか勝利しました。

二回戦目は、昨日も合同稽古をした町田高校でした。

先鋒の齋藤くんが面を決めて勝利しましたが、辻くんが敗れ、大将の三浦くんが面を決めるものの惜敗してしまいました。

結果、町田高校は三位に入賞し我々は彼らの応援で終わってしまいました。

来月は新人戦と国公立大会があります。本日の悔しさを忘れずに挑戦して欲しいです。



10月27日（日）

10月27日（日）若葉総合高校にて、合同稽古会に参加してきました。先月は多摩工業高校で行われましたが、基本から見直しの出来る貴重な会になります。

来月初心者の今峰さんと牧野くんが初めて昇級審査に挑戦します。一級に合格するためにも勉強になる時間です。経験者においては、他校の剣士と共に技を磨く発見の時間にもなりますが、一日中体を動かして学びました。11月の支部大会を始めに、12月の新人大会と国公立大会の結果に繋がる成果になればと思います。



8月20日（火）

8月20日（火）武蔵野の総合スポーツプラザにて、秋季剣道大会に参加してきました。昨年は2部ながら小川高校の快拳と言うべく準優勝を手にすることが出来た大会です。今年もタイトルを目標にここまで頑張ってきました。

決勝リーグまでは4回戦勝たなくてはなりません。トーナメントなので負けたらそこで終わりです。勝てば優勝まで更に4回戦の戦いになります。

初戦の相手は立川国際高校です。初戦の硬さは見られたものの、危なげなく勝利し、続く若葉総合も破って3回戦は早稲田になりました。ここに勝てば青山学院に勝利した國學院高校と決まっていたのですが、惜敗してしまいました。力の差は普段の練習の意識の差だと感じます。技の鍛錬も、気持ちの向上も、全てが原因です。悔しさを忘れずに今後どのような練習を考えて継続できるのか、主将の2年生三浦君に期待したいです。来たる11月の支部大会を目標に一から鍛え直します。





8月15日(木)

8月15日(木) 綾瀬の東京武道館にて錬成会に参加してきました。

早朝から始まった練習試合は、多摩工業、成蹊、若葉総合、かえつ葛飾、青梅総合、片倉、富士高校と20日の秋季大会に繋がる貴重な時間となりました。課題は沢山見つけましたが、やはり基本稽古の大切さを実感するものばかりでした。難しい事ではなく、普段から面、小手面、胴をどれほど綺麗に、速く、力強く打つ練習をしているかなんだと感じます。また、打つタイミングは剣先を相手が動かした時にどう反応しているのか、竹刀との間の取り方は適切か、などなど、いつでも基本に即した綺麗な技を出せるかが差になっていると分かります。

昨年は準優勝を勝ち取ることが出来た秋季大会も、今年は初戦負けということがあり得ます。この週末に気づいた課題を特訓し、少しでも自信を持って挑める様に頑張りたいと思います。





7月14日(日) 15日(月)

7月14日(日)に女子の大会、15日(月)に男子の大会と、豊多摩高校で行われた錬成大会に参加してきました。いずれも個人戦ですが、今年入部した女子の今峰さんと、男子の牧野くんのデビュー戦でもありました。14日に行われた女子では、1年生の菊地さんが初戦で翔洋高校に勝利するも二回戦目に青梅総合に惜敗しました。しかし、デビュー戦の今峰さんが大健闘、得意の面が冴えて小金井北、東久留米総合、戸山を破れば、準決勝は新宿高校。惜しくも敗れるも堂々の第3位になりました。続く、15日は牧野くんも初戦を勝ち、小金井北の選手と激突、延長まで行くもデビュー戦はここまで、惜敗してしまいました。この日圧巻の勝負をしたのは3年生の三田くん。延長戦を制しながら、抜き面を駆使して杉並、葛飾商業、小金井北と勝って府中西と激突しました。最後の勝負も延長戦でしたが、ベスト8で倒れてしまいました。来たる8月20日の秋季大会が我々のタイトル目標です。昨年は準優勝でしたので、今年は狙いに行きます。今週末から夏の修行が始まります。







6月1日(土)

東京工科大学にて全国剣道大会都大会予選に参加してきました。個人戦では小川剣道部快挙となる2人の出場、午前中は学校で稽古をして万全の体制で臨んだ試合でした。この試合は8月に熊本で行われる全国大会の最終予選です。我々は都大会に出場を満足している訳ではありません、その全国への切符を堂々と目指して臨んだ大会でした。

先に行われたのは3年生の馬場くんでした。豪快な面を武器に三年間小川剣道部を先鋒で引っ張って来た生徒です。相手は大成高校、両者決め手を欠きながら延長戦へ。力と力が激しくぶつかった時、竹刀が裂けるのと同時に馬場くんが小手を貰って惜敗してしまいました。

違うコートでは、馬場くんの負けを知って臨む同じ3年生の小國くんがいました。彼の相手は強豪都立駒場高校の選手、やはり延長戦へもつれ込み、勝負が決まったのは小國くんの鮮やかな面でした。続く明星高校の選手は2試合を終えて勝ち上がって来た強豪高校の選手。今更ですが誰もが強い、でも小國くんも同じ。

勝負が別れたのは、一瞬、延長戦の末に決まっていなかった小手に小國くんが決まったのと思ってしまった瞬間でした。

卒業生が見に来てくれました。保護者もいました。夕方、武道館の外では3年生の引退挨拶と後輩へのお話がありました。強くなるには、基本の徹底と、自分で勝負を終わらせないこと。結果負けることは仕方なくても、勝つために練習をして、勝つために努力する。その時、負けたならば悔しいし、勝つための工夫が生まれる。初めから負けても良いなんて弱い気持ちの小川剣道部はもう無くなりました。次は夏の秋季大会です。来週から新しい剣道部がスタートします。きっと小川剣道部は、もっと強くなります。





5月19日(日)

国土館高校にて、全国高等学校剣道大会支部予選が行われました。

我々が目標とするのは予選を勝ち抜き都大会に出て上に行くこと。

考査期間中でも臨時練習を組んで、目標に向かってじっくり稽古をしてきました。

始めに個人戦が行われ、

男子は3年生4人、

女子は2年生の村田さん、

1年生の菊地さんが出場しました。

公式戦が初めての菊地さんは、初戦が強豪の桜美林高校でした。

それでも試合は互角な戦いを繰り広げ、最後の最後で面を取られて敗れましたが、大きな成長が見られる試合でした。

男子は3年生の馬場くんと小國くんが都大会進出の快挙を成し遂げました。

馬場くんは決勝で日大三高、

小國くんが桜美林高校と戦いました。いずれも私立の強豪高でしたが会場をざわつかせる番狂わせな結果に、

2人の自信も最高潮になりました。小川高校の歴史で個人都大会出場はこの7年でも快挙です！

続く団体戦でもこの勢いを出したいところでしたが、駒場東邦に惜敗しました。

3年生はここで負けると引退試合だったのですが、個人戦で2人出場出来たのもう少し引退は伸びます。

それでも、団体戦で都大会へ行けなかった悔しさを胸に、応援に来てくれた先輩達と今までの成長を振り返りました。

涙を流しながら悔しさを言葉に表す3年生、そしてその想いを受け継ぐ後輩といつもの場面ですが、この6年で確実に小川高校剣道部は成長して来た実感出来ます。人数も少なく、活動時間も少ない中で、卒業した先輩が稽古に来て後輩を応援してくれるまでになりました。きっとこれからも躍動することだろうと期待しています。

とりあえず、6月1日土曜日、東京工科大学にて都大会個人戦が待っています。馬場くんと小國くんならばやってくれるでしょう！





5月2日(木)

令和元年、初の錬成会は三鷹で行いました。

三鷹、文京、永山、町田総合、科学技術、成瀬と人数の集まる中で、仮想全国高等学校剣道大会支部予選を念頭に挑みました。先の春季大会で国土館高校に負けて以来、短期間で意識見直した、二段打ちや打ち終わった後の次の動きなど沢山試した試合でした。結果、科学技術高校に良いところが見せられなかったものの6戦を十分な感触を持って終えることが出来ました。

この日から新たに加わった1年生男子2人、齋藤さんと辻くんも一生懸命動いていました。女子の菊地さんは勝利する

も、高校生の剣道にいつもの調子が出せなかった様子です。

いずれにしても、直近の目標は何がなんでも 19 日の支部大会を勝って都大会に出る事です。

GW も後半戦、技の精度を上げて思いっきり挑戦したいと思います。



